別紙２　プロジェクト推進管理表

活力ある宗谷の１次産業推進プロジェクト

宗谷地域

【概要・目的】

宗谷地域の基幹産業である酪農業や漁業では、人口減少や高齢化の進行などにより担い手不足等の課題があり、地域の持続的な発展に向けて、宗谷の特色を活かした農林水産業の振興に取り組む必要がある。酪農業については、酪農経営を改善するとともに、労働力の不足を補うため、自給飼料主体の草地型酪農等の推進や規模拡大に対応した営農支援組織の育成などを図りながら、生産力の維持・拡大を図る。漁業については、海域の特性に応じた栽培漁業の推進や新たな魚種の栽培技術の開発を推進し、生産の維持安定を図る。また、林業については、トドマツ等の人工林が利用期を迎えており、森林資源の循環利用に向け、森林施業の低コスト化や木材利用の推進等を図る。さらに、地域食材の特性を活かし食のブランド化を促進するとともに、担い手育成・確保の取組や女性・高齢者の活動推進を目指す。

【施策展開】

これまでの主な取組実績

■ **宗谷産農水産物の付加価値向上やブランド化の推進**
- 食クラスター「地域フード塾」（5回）及び検討会・巡回アドバイス（9回）実施（本庁、振興局）
- 酪農家の女性を対象に乳加工をテーマとしたセミナー開催（5回）（振興局）
- 「ショク×タビ」フェア（2回）の開催、北海道産品取引商談会等への出展（振興局）

■ **広大な草地資源を活かした宗谷酪農の推進**
- 草地利用状況調査の実施、飼料作物の実証ほ設置の検討、意見交換会の開催、普及飼料の発行（振興局）
- 良質な自給飼料の生産性と品質の向上を図るために、草地畜産整備事業を実施し、草地及びバンカーサイロを整備（稚内第2地区外7地区）（振興局）
- コントラクター及びTMRセンター等営農支援組織の構築に向けた支援（振興局）

■ **日本海やオホーツク海の海域の特性に応じた栽培漁業の構築**
- 栽培漁業の推進や新たな魚種の生産・放流技術の確立、漁業者への技術普及・定着の促進（振興局）
- 漁場造成や漁場機能回復の取組によるコンブ生産増大の推進（振興局）
- 健全なサケ稚魚の育成のため、施設の補修修繕を実施（振興局）

■ **地域の特性に応じた森林資源の循環利用の推進**
- 木材の搬出コストを低減させるため、基盤となる路網整備（林道、林業専用道）を進め路網密度向上を推進（振興局、市町村、森林組合）
- 各種補助事業を活用した森林整備の推進（振興局、市町村、森林組合、民間）
- 地域森林整備・木材利用拡大円卓会議開催（振興局）

■ **農林水産業の担い手対策の推進**
- 農業系大学での就農促進セミナー開催（道内、首都圏）（振興局）
- 都市部の大学生を対象とした酪農体験型インターンシップの実施（振興局、民間）
- 農村女性交流研修会開催（振興局）
- 漁業就業支援フェアに漁業者が参加し、研修生の長期研修を開始（振興局、民間）
- 管内大学生・高校生を対象とした、宗谷地域林業担い手確保推進協議会による林業体験等を実施

今年度の主な取組（令和元年度（2019年度））

■ **宗谷産農水産物の付加価値向上やブランド化の推進**
- 食クラスター「地域フード塾」及び検討会・巡回アドバイス実施（本庁、振興局）
- 酪農家及び地域住民等を対象にチーズセミナーを実施（振興局）
- 「ショク×タビ」フェア（2回）の開催、北海道産品取引商談会等への出展（振興局）

■ **広大な草地資源を活かした宗谷酪農の推進**
- 植生改善、維持活動の費用対効果を検証するため、農協等関係機関と打合せ、モデル農場の選定及び調査を実施（振興局）
- 良質な自給飼料の生産性と品質の向上を図るため、草地畜産整備事業を実施し、草地及び家畜保護施設等を整備（稚内第2地区外6地区）（振興局）
- コントラクター及びTMRセンター等営農支援組織の構築に向けた支援（振興局）

■ **日本海やオホーツク海の海域の特性に応じた栽培漁業の構築**
- 栽培漁業の推進や新たな魚種の生産・放流技術の確立、漁業者への技術普及・定着の促進（振興局）
- 漁場造成や漁場機能回復の取組によるコンブ生産増大の推進（振興局）
- 健全なサケ稚魚の育成のため、施設の補修修繕を実施（民間）

■ **地域の特性に応じた森林資源の循環利用の推進**
- 各種補助制度を活用した適切な森林整備・管理のための路網整備の開設（振興局、市町村、森林組合）
- 各種補助事業を活用した森林整備の推進（振興局、市町村、森林組合、民間）
- 地域森林整備・木材利用拡大円卓会議開催（振興局）

■ **農林水産業の担い手対策の推進**
- 農業系大学での就農促進セミナー開催（道内、首都圏）（振興局）
- 地域の酪農に携わる多様な担い手を対象とした研修プログラムの企画実施（振興局）
- 農村女性交流研修会開催（振興局）
- 漁業就業支援フェアへの参加（振興局、民間）
- 管内大学生、高校生を対象とした漁業体験研修を実施（振興局）
- 管内大学生・高校生を対象とした、宗谷地域林業担い手確保推進協議会による林業体験等を実施

今後の取組を進める上での主な課題

■ **宗谷産農水産物の付加価値向上やブランド化の推進**
- テーマやストーリー性のあるフェアの開催を通じて、商品単体による一過性のPRではなく、宗谷の食資源全体の魅力発信や地域ブランドイメージ向上の推進が必要
- 移住定住など他分野の取組との相乗効果による地域ブランドイメージ向上のため、関係部局や市町村と連携を図ることが必要。
- 商談会等において宗谷の特産品等を効果的にPRするため、管内市町村や関係機関、商品開発に積極的に取り組む事業者等と連携し、地域の特産品・食資源の掘り起こし・磨き上げに取り組むことが必要
- チーズなど乳加工は手間がかかり、農家一戸ではハードルが高いことから、自発的グループが生まれるよう促すとともに、初心者用のセミナーを開催し新規参入者を育てるなど、取組の裾野拡大が必要

■ **広大な草地資源を活かした宗谷酪農の推進**
- 管内は泥炭土に覆われ草地の開発・維持が難しいうえ、離農に伴う1戸あたりの草地面積の増加により、優良農地の維持管理の困難さや栽培管理の負担感から、効率的な草地利用に対する機運醸成のハードルが高い
- 乳価上昇や初任牛の販売価格高騰といった情勢を踏まえ、適切な草地管理による良質粗飼料生産の一層の促進が必要

■ **日本海やオホーツク海の海域の特性に応じた栽培漁業の構築**
- 様々な環境変化に伴い、ウニやコンブ生産が減少。年変動があるサケの来遊数の安定化を図る必要

■ **地域の特性に応じた森林資源の循環利用の推進**
- 木材の搬出コストを低減させるための路網整備や森林所有者の施業意識の醸成、林地未利用材の把握、地域材活用を一層促進することが必要

■ **農林水産業の担い手対策の推進**
- 道東と比較して酪農地帯としての認知度が低いため、農地価格の安さや就農支援の手厚さなど、「宗谷酪農」の優位性について、道内外の学生等へ積極的なPRが必要時間的制約や家庭での理解不足等により、管内の女性農業者グループの活動は交流会などに限定。活動への参加機会の創出が必要
- 地域の農業者だけでなく、酪農ヘルパーや牧場従業員などといった酪農関連産業の人材不足も深刻であり、総合的な人材の確保に向けた取組が必要
- 漁業研修期間中の研修離脱者を減らす取組や住宅など定住化に向けた環境整備が必要
- 就業環境の改善や林業体験の実施にあたり、より一層の林業事業体等との連携が必要

活力ある宗谷の１次産業推進プロジェクト

宗谷地域

【施策展開】

次年度の取組（令和２年度（2020年度））

■宗谷産農水産物の付加価値向上やブランド化の推進
・チーズづくりの技術向上に向けたレベルアップセミナーの開催等（振興局）
・札幌圏や首都圏等で開催される食の商談会への出展、食セミナー及びワークショップの開催（振興局、市町村、民間）

■広大な草地資源を活かした宗谷酪農の推進
・良質な自給飼料の生産性と品質の向上を図るために、草地畜産整備事業を実施し、草地及び家畜保護施設等を整備（浜頓別地区外6地区）（振興局）
・自給飼料生産に係る費用算出に向けた打合せ、調査を実施（振興局）
・コントラクター及びTMRセンター等営農支援組織の維持発展、労働負担軽減に向けた支援（振興局）

■日本海やオホーツク海の海域の特性に応じた栽培漁業の構築
・栽培漁業の推進や新たな魚種の生産・放流技術の確立、漁業者への技術普及・定着の促進を図る。（振興局）
・漁場造成や漁場機能回復の取組によるコンブ生産増大の推進を図る。（振興局）

■農林水産業の担い手対策の推進
・農業系大学での就農促進セミナー開催（道内、首都圏）（振興局）
・「新・農業人フェア」等へ出展し、管内情報発信や就農相談、アンケート等を実施（首都圏）、道内農業系大学等の実習生受入（夏休み期間）（振興局）
・「宗谷新規就農支援ネットワーク」を活用した、新規就農希望者等の広域的な受入の推進（振興局）
・女性農業者が農業経営のパートナーとして活躍できるよう、酪農技術や経営管理に関する研修や交流会を地域段階、管内全域で開催し、知識を深めながら地域を越えた仲間づくりや女性が活躍しやすい環境づくり等を支援（振興局）
・管内大学生・高校生を対象とした宗谷地域林業担い手確保推進協議会による林業体験等を実施、道外在住者に向けたUIターンフェアを活用した情報発信。（振興局）

■地域の特性に応じた森林資源の循環利用の推進
・森林資源の循環利用に向けて、木材の搬出コストを低減させるため、基盤となる路網整備を進めて路網密度の向上を推進。（振興局、市町村、森林組合）
・各種補助事業及び森林環境譲与税を活用した森林整備の推進。（振興局、市町村、森林組合、民間）
・製材工場等へ原木を安定的に供給するため、路網、高性能林業機械を活用し、間伐材の生産向上を事業実施者に対して推進。（振興局）
・地域森林整備・木材利用拡大円卓会議において木材の利用拡大に向け情報提供を行うとともに、幅広い観点から知見の交換及び具体的な取組の検討を実施。（振興局）

【ＫＰＩの状況】

	H26（基準）	H27	H28	H29	H30	R2（目標）
○取組を通じた百貨店等との商品新規取引数	2件	12件	18件	17件	20件	20件
		＜進捗率＞ 60%	90%	85%	100%	
○生乳生産量	324千t（H25）	321千t	321千t	320千t	314千t	331千t
		＜進捗率＞ 97%	97%	97%	95%	
○沿岸漁業に占める栽培漁業生産量の割合	62%（H24）	88%	92%	84%	84%	76%（R1）
○伐採材積	362千㎥（H23～27計）	73千㎥（基準値に含む）	107千㎥	70千㎥	70千㎥	500千㎥（H28～R2計）
			＜進捗率＞ 21%	＜進捗率＞ 35%	＜進捗率＞ 49%	
○新規就農者数	16人（H22～25平均）	16人	26人	9人	8人	20人
		＜進捗率＞ 80%	130%	45%	40%	
○新規漁業就業者数	36人（H24）	57人	46人	27人	44人	40人（R1）
		＜進捗率＞ 143%	115%	68%	110%	